

著書, 学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又 は発表 の年月	発行所, 発表雑誌 又 は発表学 会等の名 称	概 要	編者・著者 名(共著の 場合のみ記 入)	該当頁数
(著書) 1. 『三昧耶戒序/秘密三昧耶 仏戒儀/平城天皇灌頂文 / (弘仁) 遺誠』	共著	2003. 12	四季社	『秘密三昧耶仏戒儀』の現代語訳 ならびに語注を担当。	宮坂有勝・大沢聖寛 佐藤正伸・北川真寛 佐々木大樹	
(学術論文) 1. 秘密莊嚴住心の存在論的 構造について	単著	1997. 3	密教文化 (198)	空海の十住心思想における秘密莊嚴 住心における身心の定義について、M・ ハイデッガーの実存論との対比を行い、 その相違点を論じた。		49-63頁
2. 『般若心経秘鍵』の撰述 年代について—諸開題に 見られる経題解釈法から の考察—	単著	2001. 2	高野山大学大学院 紀要 (5)	近來、空海最晩年の撰述と言われて きた『般若心経秘鍵』の撰述年代につ いて、その経題解釈方法が、天長前半 期で否定される方法であることから、 天長年間中頃までの撰述である可能性 を指摘した。		1-16頁
3. 平安時代初期における 法身説法説の受容	単著	2003. 3	日本印度學仏教学 研究 (51-2)	天長六本宗書に数えられる玄叡の『大 乘三論大義鈔』における法身説法批判を 取り上げ、空海当時の顕密対弁に対する 反応を検証した。		652-654頁
4. 『弁頭密二教論』巻上 における「或者」について	単著	2004. 12	高野山大学大学院 紀要 (8)	『弁頭密二教論』巻上で空海が批判し た、『法華経』教主を法身と解釈する 「或者」について、それが伝教大師最 澄を意識したものと考えられることを 指摘した。		1-16頁
5. 『華嚴宗一乘開心論』に おける「円円海」解釈 —『弁頭密二教論』との 関連を通して—	単著	2004. 12	日本印度學仏教学 研究 (53-1)	天長六本宗書に数えられる普機の『華 嚴宗一乘開心論』における『釈摩訶衍 論』解釈を、空海の『弁頭密二教論』に おける解釈と比較し、空海の顕密対弁に 対する空海当時の反応を検討した。		46-49頁
6. 『二教論』における『大 智度論』法性身説法につ いて	単著	2005. 3	密教学研究 (37)	『二教論』で空海が用いた『大智度 論』所説の法性身説法について、空海当 時の理解ならびにそれに基づく批判を踏 まえつつ、空海が『大乘起信論』および 『釈摩訶衍論』の始覚門から、この法性 身説法を解釈している可能性を指摘し た。		59-73頁

7. 『弁頭密二教論』における『楞伽經』法仏説法の解釈について—特に法相教学との対比を通じて—	単著	2005. 12	密教文化 (215)	空海が独自の解釈を行ったとされる『楞伽經』所説の法仏説法について、それが空海当時の法相教学では常識的に論じられている点、およびその上で空海がその内容を大きく変容させている点を指摘した。		1-28頁
8. 「一乗経劫」について—一即身成仏思想に関する問題—	共著	2006. 2	高野山大学密教文化研究所紀要 (19)	空海の提唱した即身成仏思想について、華嚴・天台の成仏論との関連を問題とした『宗義決撰集』所収の論即である「一乗経劫」について、天台宗における議論と共に検討を加えた。	北川真寛	43-70頁
9. 『大日経開題』における「神変」と「加持」について	単著	2010. 3	密教学研究 (42)	『大日経開題』における「神変」と「加持」について、伝統教学における註釈を中心に検討した。		135-150頁
10. 『御遺告』における順暁について	単著	2014. 3	空海研究 (1)	『御遺告』において惠果和尚の兄弟弟子と位置付けられる順暁について、それが東密への蘇悉地流入の影響によるものと推論し、検討を加えた。		59-85頁
〈口頭発表〉 1. 平安時代初期における法身説法説の受容		2002. 7	日本印度學仏教学会 第53回大会 (於 東国大学校)			
2. 『華嚴宗一乗開心論』における「円円海」解釈—『弁頭密二教論』との関連を通して—		2004. 7	日本印度學仏教学会 第55回大会 (於 駒澤大学)			
3. 『二教論』における『大智度論』法性身説法について		2004. 10	日本密教学会 第37回学術大会 (於 総本山金剛峯寺)			
4. 『大日経開題』における「神変」と「加持」について		2009. 10	日本密教学会 第42回学術大会 (於 真言宗豊山派 宗務所)			
5. 『御遺告』における叡山天台の影響—『御遺告』に表れる順暁について—		2013. 7	空海学会 第1回研究発表会 (於 高野山大学)			
〈講演〉 1. キャリア教育から見た中等教育—日米欧の国際比較—						